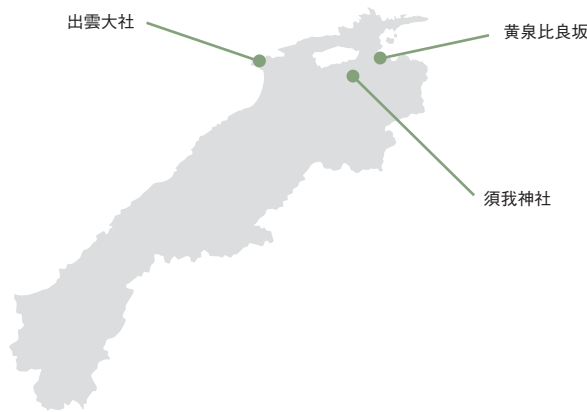




“神々の国しまね”をゆく ～神話のスポットと美味の旅～

島根県

島根県には「古事記」や「日本書紀」、我が国唯一の完本と言われる「出雲国風土記」の伝承地が多数あり、神話の世界が生活や文化に根付いています。
今回はその中の「神話スポット」と、その地で育まれた「食」についていくつかご紹介します。



◆出雲大社（出雲市）

オオクニヌシノミコトを祭神とし、縁結びの神様として有名な出雲大社。古事記、日本書紀によれば、オオクニヌシノミコトの国譲りに際して、底つ磐根に宮柱を深く立てた壮大な宮殿を造られたのが出雲大社の始まりであるとされています。

現在の本殿は延享元（一七七四）年に造営され、以来、文化六（一八〇九）年、明治十四（一八八一）年、昭和二十八（一九五三）年と三度にわたり御遷宮御修造が行われてきました。

そして現在、六十年ぶりの御修造となる『平成の大遷宮』が行われており、平成二十五年五月には御修造された本殿に御神体がお戻りになる本殿遷座祭が行われる予定です。

★ぜんざい

旧暦十月は、全国八百万の神々が出雲に集まることから、出雲地方では「神在月」と言い、出雲大社などで「神在祭」と呼ばれる神事が執り行われます。

そのお祭りの折に振る舞われていたのが「神在餅」と言われています。その「じんざい」が訛って「ぜんざい」となり、京都に伝わったとされ、「ぜんざい



6	5	3	2	1
	5	4		

1.出雲大社 2.ぜんざい 3.須我神社 4.日本初之宮碑 5.黄泉比良坂 6.佐香錦

い」発祥の地は出雲であると言われています。

◆**須我神社**(雲南市)

古事記にも登場する出雲神話の一つとして有名な「八岐大蛇伝説」。島根県では、石見神楽や出雲神楽の演目として親しまれています。

スサノオノミコトは大蛇を退治した後、クシナダヒメと結ばれ初めて宮作りをしました。これが「日本初之宮」とされている須我神社です。

スサノオノミコト、クシナダヒメの夫婦とその御子神が主祭神として祀られており、夫婦円満、児授かり、出産の守護と除災、招福の守護が授かると言われています。

★**地酒「佐香錦」**

スサノオノミコトの大蛇退治に使われた酒として「八塩折の酒」が登場しますが、島根県は全国でも有数の酒どころです。

島根県出雲市にある佐香神社(またの名を松尾神社)は、酒造りの神様を祀っており、この地が日本酒発祥の地であると推察されています。

毎年十月十三日に開催される秋季例大祭では、宮司自らが醸し出した神酒(どぶろく)が奉

納され、その後参拝者にも振舞われます。

この佐香神社に由来し、島根県で誕生した新しい酒造好適米「佐香錦」を使用して、平成十五年より統一ブランドとして島根の酒蔵が力を入れて造っている酒が、「佐香錦」です。

◆**黄泉比良坂**(東出雲町)

日本神話における初めての夫婦神であるイザナギノミコトとイザナミノミコト。亡くなったイザナミノミコトに会いたい一心で黄泉の国を訪れたイザナギノミコトが、イザナミノミコトの変わり果てた姿に驚いて逃げ帰る途中、追手の追撃を阻むために大きな岩を置いたのが黄泉比良坂です。古事記によれば、出雲国の伊賦夜坂にあつたとされ、東出雲町揖屋のこの場所(写真)が黄泉比良坂と考えられています。

本年六月には、映画「瞬」の舞台にもなりパワースポットとして注目されている場所でもあります。

〈問い合わせ先〉
神話のふるさと「島根」推進協議会
(島根県商工労働部観光振興課)
TEL 0852-22-5755
<http://www.shimane-shinwa.jp/>

日本ぜんざい学会事務局
(出雲観光協会)
TEL 0853-53-2112
<http://www.1031-zenzai.com/>

島根県酒造組合
TEL 0852-26-5595
<http://www.shimane-sake.or.jp/>